

目標達成計画

作成日: 平成23年12月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		理念のとらえ方が職員によって異なるところがあるため、共通のケアを提供することに問題が出てくることがある。	理念に基づいた共通のケアを提供する。 東京認知症研修センターのセンター方式による認知症ケアを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回介護職員全員で行っている職員会議の中で「理念に基づいたケア」についての話し合いをもち、意識付けを行う。 ・ センター方式の研修会へ参加する。 ・ 各入居者に適したセンター方式のシートの選択をし、入居者に寄り添うケアを行う。 	12ヶ月
2		入居者の加齢、介護度が進み、ターミナルケアが現実化しているのに、入居者の重度化、終末期に対する知識と経験が不足しているため不安がある。	施設内外での研修へ参加し、職員の知識向上を図り、不安を軽減していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマにそった外部での研修を選択し参加する。 ・ 施設内研修では職員会議で各回10～15分ほどこのテーマでの研修を行う。 	12ヶ月
3			医療の基礎的知識を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会への参加を図る 	12ヶ月
4			ご家族の複雑な意向への対応力を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご家族との対話を増やし、より強力な信頼関係を構築する。 	12ヶ月
5			入居者へ寄り添う、ケアの環境・雰囲気作り。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のケアの問題点の把握、検討 	6ヶ月
6		災害対策	入居者の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3日間の食材の備蓄 	2ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。